

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	非言語コミュニケーション入門
科目基礎情報					
科目番号	0087	科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	コミュニケーション情報学科 (H31年度開講分まで)	対象学年	4		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	指定しない				
担当教員	松江 俊一, 田淵 義英				
到達目標					
①非言語コミュニケーションの基礎的な理論を理解する ②心理学の基礎を理解し、円滑な人間関係を図る能力を身につけることができる。 ③自己分析及びプレゼンテーションの基礎を習得する。 ④個人と組織の関係についての知識を習得する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	非言語コミュニケーションについての基礎的な理論を理解し、それを現実に応用できる力を養う。				
授業の進め方・方法	前期中間試験は実施しない。後期中間試験は50分の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。定期試験70%、課題30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。課題は、適宜授業ノートの提出、レポートの提出などを課す。				
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることが心掛けること。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	導入	講義の進め方、評価の方法、求められる参加姿勢について	
		2週	非言語の世界	言語の世界、非言語の世界	
		3週	文化と非言語表現	文化における非言語の位置づけ	
		4週	非言語チャネルの基礎	主な非言語チャネルとその機能	
		5週	動物と非言語表現 (1)	動物における距離	
		6週	動物と非言語表現 (2)	距離と社会行動	
		7週	空間と非言語表現 (1)	遠距離の知覚と非言語表現	
		8週	空間と非言語表現 (2)	近距離の知覚と非言語表現	
	2ndQ	9週	美術と非言語表現	美術に「見る」知覚	
		10週	文学と非言語表現	言語と知覚	
		11週	閑話休題：九鬼周造の日本一いき	九鬼周造と「いき」	
		12週	ブロックセミックス	ドイツ、イギリス、フランス	
		13週	ブロックセミックス	アラブ、日本	
		14週	まとめ	講義のまとめと今後の展望	
		15週	テストの返却	期末試験の講評と前期のまとめ	
		16週			
後期	3rdQ	1週	自己表現技法(1)	非言語要素の復習、コミュニケーションの定義	
		2週	自己表現技法(2)	プレゼンテーションの目的、Win-Winの心理学的視点	
		3週	自己実現(1)	アサーション、ダブルバインド	
		4週	自己実現(2)	態度変容、ディジションメイカー	
		5週	対人認知	印象形成、対人認知における歪みと個人差	
		6週	社会的スキーマ	帰属におけるエラーとバイアス	
		7週	自尊感情	社会的比較理論、セルフディスクリベパンシー理論	
		8週	援助行動	傍観者効果、責任の分散、多数の無知、評価懸念	
	4thQ	9週	態度と感情	説得的コミュニケーション	
		10週	対人行動	自己開示、援助行動、攻撃	
		11週	集団と個人	集団ダイナミクス、ジレンマ、集団間差別	
		12週	マスメディアの影響(1)	複合影響説、議題設定効果、培養効果	
		13週	マスメディアの影響(2)	フェイクニュースの現状	
		14週	世論、流言	沈黙の螺旋、第三者効果、合意性過大視効果	
		15週	後期学習したことの総括	後期期末試験解答用紙の返却と解説	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0